

(2) 最重要プロジェクト【企業支援機能強化プロジェクト】

区分	H26	H27	H28
工業系試験研究機関の機能強化	<p>(1) 工業系試験研究機関の施設、設備、組織体制の再編にかかる基本構想の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業界、地元自治体、有識者による検討会議を設置。基本構想の策定 		<p>【工業系試験研究機関の機能強化】</p> <p>成長産業の発展に向けた工業系試験研究機関の新たな役割・機能、組織の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■プロジェクト研究推進部門の新設 ■航空機・次世代自動車向け新規プロジェクト研究の開始 <p>・新研究棟用機器(H28: 150百万円) ・生体計測システム等(H29: 40百万円)</p> <p>・EMC試験設備(H30: 465百万円)</p> <p>・真空凍結乾燥機(食品)など(H28: 総額150百万円) ・蛍光X線分析装置(陶磁器)など(H29: 総額150百万円)</p> <p>・コーンカロリメーター(木材)など(H30: 総額150百万円)</p>
	<p>(2) 再編基本構想に基づく試験研究機関の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究施設整備基本計画策定。実施計画策定 	<p>・竣工・機能移転</p>	
	<p>(3) 研究開発・技術支援体制の強化</p> <p>① 成長産業支援のための重点的な機器整備 【総額7.0億円】(早期に整備すべき機器0.8億円、新研究棟用機器1.5億円、EMC試験設備4.7億円)</p> <p>② 地域産業の継続的支援のための試験研究機器の計画的な整備・更新(枠予算拡充) 【総額6.0億円】</p> <p>③ 計画的な人員配置</p>	<p>・膜厚測定装置(40百万円)</p> <p>・摩擦摩耗試験機(金属・刃物)など(総額150百万円)</p>	
産業支援機関の機能強化	<p>(4) (公財)県産業経済振興センター、(公財)県研究開発財団の機能強化</p>		<p>【産業支援機関の機能強化(BtoB部門の機能強化)】</p> <p>複数機関にまたがる以下の産業支援機能の見直し、統合、ワンストップサービス化 (県産業経済振興センター(BtoB部門)と県研究開発財団の統合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■経営・創業支援 ■販路開拓・拡大支援(国内外) ■産業支援に関する総合窓口 ■成長分野展開・新規参入支援 ■イノベーション(新技術・新製品開発、産学官連携等)支援 ■人材育成(企画・コーディネート) <p>岐卓(本部)</p> <p>各務原(支所)</p>
	<p>(5) BtoB部門の海外展開支援の強化</p> <p>① 海外展示会出展及びビジネスマッチング支援(タイ・メタレックス)</p> <p>② アジア・アセアン地域現地ビジネス交流会・商談会支援(インドネシア)</p>	<p>ターゲット: タイ、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、ラオス、シンガポール等</p>	
	<p>(6) (公財)ソフトピアジャパンとIAMASの連携強化</p> <p>① ソフトピアジャパンに産学官連携支援室の開設</p> <p>② IAMASと企業等の連携による新商品共同開発支援</p>		